

打瀬中 音魂祭練習がスタート



このベイタウンニュースが発行される 10 月の月上旬。中学校では全生徒 1000 人近くが毎日クラス対抗の合唱コンクール「音魂祭」(おとだまさい) の練習をしています。音魂祭は打瀬中伝統の秋の文化イベント。学年最後の一大イベントです。男子も女子も、ときには先生も一緒に休み時間にはどの教室からも練習の歌声が流れます。なぜ音魂祭がそんなに人気があるのか、今年も練習だけなわの打瀬中取材してきました。【松村】

音魂祭の練習は毎年 9 月のシルバーウィーク直前の学期末試験が終わると同時に 3 年生から始まります。クラスで申し合わせ、朝練と称して授業開始前に教室に集まって練習。そして給食後の昼休みにも練習、放課後にも練習と学校のある日はほぼ毎日 3 回練習し、これが 10/24 の音魂祭本番までつづきます。

こんなに合唱に熱くなるのは、ひとえにこれがクラス対抗というコンクールになっているからです。特に 3 年生にとってはこれがクラスメートと一緒に活動する最後のイベントです。2 年生の時に一步手前で優勝できなかったから、体育祭で惜しくも負けたからなど中学 3 年間のクラス間でリベンジができる最後のチャンスです。もちろん勝ち続けて負け知らずで卒業を迎えたいというクラスもあるでしょう。中学では基本的に 2 年生から 3 年生はクラス替えはなく、担任の先生も同じなので同じメンバーで競います。これが 3 年生が音魂祭で特に熱く燃える理由のようです。この 3 年生の熱い姿を見ながら 1、2 年生も音魂祭の魅力に取り付けられます。

合唱という文化系のイベントのせいか、音魂祭では伝統的に女子の熱心さが目を引きます。練習のはじまった 9 月のはじめには練習の参加率を巡って男子と女子が対立し険悪な雰囲気になることも。しかしこんなドラマを乗り越えて、本番直前の 10 月半ばになれば、どのクラスもひとつの目標に向かって熱く燃えます。

音魂祭で歌う課題曲はクラスによって分かれます。毎年夏休みが始まる直前にクラスごとに学校から示された課題曲リストから CD を聞いて歌いたい曲をクラスで選び、それを課題曲にします。選ばれる曲は中学生らしく過去の NHK 音楽コンクールの課題曲になった曲などが中心ですが、中には大人の合唱団が歌う曲や、アカペラ(無伴奏)の曲を選ぶクラスもあります。そして課題曲の他にもう一曲「大地讃頌」。これは打瀬中の全学年が毎年歌い継ぐ曲です。特に 3 年生はクラスごとの発表前に全員で歌います。300 人近くの中学 3 年生が歌う大地讃頌は本番の行われる 1,700 人収容の千葉県文化会館でもホールを揺るがすほどの大音量となり、圧巻です。

僕のように古い世代の大人にとって中学生時代は、特に男子は合唱は少し縁遠い世界でした。今の打瀬中生たちは何の迷いもなく素直にその魅力を楽しんでいるようです。

音魂祭実行委員長インタビュー

今年も実行委員長インタビューを学校にお願いし、9 月 17 日の放課後に多目的室で待つことにしました。現れたのは阿部翼君。とても目元涼しい爽やかな感じの 3 年生です。実は阿部君を取材するのはこれで 3 度目になります。最初は小 6 のときのラジオ体操リーダーとして。2 度目は今年 7 月号で男子陸上部部長として。どちらかというスポーツ万能型の少年というイメージでしたが、彼は同時にピアノを弾いても全国大会に出るほどの才能で、今年の打瀬中の校歌伴奏者にも選ばれています。インタビューしていて思い出したのは、3 年前の音魂祭実行委員長だったのは阿部和さんのこと。感じが似ていると思っていましたが、彼のお姉さんです。兄弟で実行委員長というのは音魂祭の歴史でも初めてでしょう。

当然阿部君もそのことを意識しているようで、「姉の影響で小学生の頃から音魂祭を見てきて、自分も最後の音魂祭に深く関わりたいかったから」と語ってくれました。兄弟で音魂祭。これからもこんなケースは増えるでしょうね。親子でというのもそう夢ではないかも知れません。

インタビュー中、実行委員会で決まったことを確認することがありました。小さなことですが彼はしばらくファイルをめくってその記述がないことに気付き、鞆からメモを取り出して探してくれました。メモには他にも会議のことなどがきちんと書き込まれています。僕が中学生の時にはメモなんて取ったことなかった。運動や音楽で大きな成果を残しているのはこういう当たり前のことをきちんと続けている結果なのかなと思いました。

音魂祭。思い出に残る大会にしてください。



打瀬から出た小さくても大きなゴールキーパー

「小さなゴールキーパー」とは、失礼な表現かも知れないが、180、190cm 台がざらの現代サッカーにおいて、身長 168cm でキーパーというのは極めて稀だ。ベイタウンに住む、富澤拓海君 18 才。彼は今、プロ選手になることを目指している。

富澤君は打瀬小→美浜打瀬小→打瀬中→法政二高と進み、今年の 4 月に法政大学に進んだ。今は大学のサッカー部ではなく、JFL 下部の地域リーグの大成シティ FC 坂戸というチームに所属し、社会人に交じって練習に励んでいる。なぜ大学のチームでなく社会人チームかと言うと、やはり身長のハンデから、人と同じことをやっていては、決してプロになれないという思いからだ。

彼のサッカー人生は、決して順風満帆ではなかった。小学生の頃からサッカーを始め、小 2 でキーパーをやってみて、その楽しさに病みつきのようになった。小学生の頃はゴールマウスも小さかったので、身長はハンデにならず、県大会優勝も経験できた。

しかし、中学に進むと、試合に出られないことが多くなった。高校ではキャプテン

に選ばれたが、試合には出られなかった。それでも彼はあきらめずに、身長へのハンデをカバーする方法として、ゴールマウスでなく、ディフェンダーと力を合わせてコート（面）を守るノウハウを身に付け、徐々に形にしつつあるという。

また、前述のように、普通に考えたらとてもプロには到達できないという思いから、社会人チームに身を置きつつ、短期留学経験のあるニュージーランドのセミプロクラブに自ら頼み込み、練習生として参加し、試合にも出ることができた。才能豊かな選手であれば、自然と周りが引き上げてくれるかも知れないが、そうでないことを自覚している彼は、スポンサー／協賛社も自ら探し、クラブとの交渉も基本的に自らい、自分で道を切り開こうとしている。

そのような積極的な活動が実り、近い将来、ニュージーランドのあるクラブに加入することができそうだ。彼は、そこから FIFA クラブワールドカップ出場を目指すという。

サッカーのプロを目指すには、道はひとつではない。それは険しく、長い道のりかも知れないが、自分の努力次第で道は開ける。それを自ら証明しようとしている富澤君。これはサッカーに限った話ではないだろう。ベイタウンからプロ選手が出ること、また、FIFA クラブワールドカップで活躍することを夢見つつ、富澤君のこれからの応援したいと思います。興味を持ち、応援したいという人は、富澤君のブログ（<http://tomi-footballer.blog.jp/>）やツイッター（https://twitter.com/tomi_football_7）を訪れてみて下さい。また、アスリートナレッジというサイト（<http://athlete-knowledge.jp/>）に記事も書いています。【板東】



小学校の保護者ボランティア

小学校の保護者ボランティア、と聞くとどのようなイメージが浮かぶでしょうか。子どもが小学生になると、学校からのお便りを通じて様々なボランティア募集の案内がきます。

仕事や未就学児がいることを理由になかなか参加できないままでしたが、去る 9 月 18 日（金）に海浜打瀬小学校で行われた、公開研究会運営のボランティア活動に参加してきました。

【斎田】

この日は「千葉市教育委員会研究指定公開研究会」開催に伴い多くの来校者があるとのことで、当日の案内や来賓接待の手伝い、事前の環境整備（清掃）を主に、夏休み明けに募集告知がありました。前日と当日の都合の良い日時に丸をつけて提出し、追って担当が割り振られました。

当日、12 時に小学校アリーナにて全体説明を受けた後、記者の担当は海浜幕張駅での案内係ということで他 3 名の駅担当ボランティアの方と駅へ移動、開始前の約 45 分間改札前とバス停やタクシー乗り場付近に立ちました。

今回、当日の保護者ボランティアは 23 名で、駅の案内以外に研究会開始前は校舎内外で会場への案内、研究会開始後は分科会や全体会場での接待（お茶の用意）や環境チェック（トイレ確認等）を担当していました。参加されている方は「ちょうど都合がついたから」「たまにはやらなきゃと思って」、など理由は様々。無理ない範囲で、という気持ちで参加しているようです。駅の案内は短時間で終わってしまい、役に立ったのかなと思うくらいでしたが学校に戻り公開授業の様子も見られて貴重な機会でした。

駅担当として一緒にになりお話を伺った保護者組織「海浜打瀬の会」会長加治さんによると、前日のボランティアは 7ヶ所ものトイレ清掃など大変な作業にもかかわらず熱心してくださったとのこと。

正直「トイレ清掃もあったのか」と驚いたのですが、日頃の児童の清掃だけでは行き届かない箇所などは学校（先生）側が担っている現状で、海浜打瀬の会としては、先生方が本来の業務に少しでも専念できるよう協力しているとのこと。

夏休み最後の 3 日間に環境ボランティア活動として、①カーペットの張替え、②トイレ清掃、③窓ガラス清掃、④除草作業を全職員とボランティアで実施する旨の告知があったことを思い出し、こうした経緯によるものなのかなと実感しました。

海浜打瀬小の保護者ボランティアとしては、今回の様な特別行事の手伝いの他に、上述の清掃・除草作業といった「環境ボランティア」、サンタイムの読み聞かせや各学級での朝読書などの「読書ボランティア」、津波避難訓練時に各マンションで立会いをする「津波ボランティア」等があります。

また、以前ベイタウンニュースでも取りあげた「セーフティウォッチャー」という

児童の登下校の安全確保にかかわる活動もあります。保護者全員を対象に、日々の登下校や通学路の見守りを各自できる時にして気づいたことを報告する仕組みです。保護者全員が登録、となっていますが強制的に集合等がある活動ではなく、正直私も活動らしい活動をできていませんが比較的参加しやすいボランティアかなと思います。

保護者ボランティアの活動内容は各学校で多少異なりますが、前述の加治さんによると、海浜打瀬小学校と海浜打瀬の会としては、保護者同士が顔を合わせるきっかけとしてもボランティア活動を重視していて、その機会を増やしているとのこと。ボランティアを通じて学校と保護者だけでなく、保護者の横のつながりも強くなってほしい、そんな願いがあるそうです。



写真コンクールにご参加を！

～私の好きな道路照明のある風景～

ベイトウンも街びらき以来20年がたち、私たち住民が日ごろ慣れ親しんでいるベイトウンの通りの景観にも交通の問題や、時代の要請、老朽化など変化する要因が出てきています。

道路照明も、またしかり。

千葉市の道路照明LED化の施策を受け、ベイトウンの道路照明の灯具が交換されることになりました。

ベイトウンの道路照明は、そのデザイン性が高く評価され私たちが誇りに思うベイトウン景観の重要な部分をなしています。この際、この素敵な道路照明を記録として残しておきませんか！

あなたの好きな道路照明のある風景を、是非お寄せ下さい。

審査方法

ベイトウン協議会の中に選定委員会を設け、応募いただいた方の中から優秀賞（複数点）を選びます。（参加者に参加賞）



募集要項

募集期間：10月末まで

募集内容：ベイトウンの中の道路照明（道路照明の入った街路風景）を撮影した写真（1MB以下）写真とともに、その風景に寄せるメッセージ（100字以内）一人1点

応募先：bt-keikan@freeml.com

主催：幕張ベイトウン協議会・景観委員会

協賛：幕張ベイトウン商店街振興組合

UR都市機構

コアを維持するために何ができるか（公民館を考える会9月の活動）

「考える会」、9月のミーティングでは遅れ気味の千葉市との協議について、市の担当者にも参加してもらい今後の予定を確認しました。これまでの話し合いで決まっていたのは、今回の住民参画を来年度（平成28年度）より進められるよう準備すること。そしてその内容は：

- 1) 公民館講座を住民で企画・運営とする
 - 2) そのための管理をする事務担当者を住民側で雇用し、受付業務など一般事務も行う
 - 3) 雇用のための調整を千葉市とベイトウン協議会がおこなう
 - 4) ホール等の設備、備品の管理に住民が参加する
- ということでしたが、このうち2)と3)の部分、つまり雇用の部分について調整がつかず話し合いが止まっていました。

今回の千葉市からの説明では、遅れている理由は「雇用を伴う部分で制度設計をするのに時間がかかっている。さらに千葉市全体で考えている公民館の指定管理者制度への移行についての検討が進まず、その対応に時間が取られている」との説明でした。

もともと打瀬公民館での取り組みは住民側からすれば指定管理者制度とは別の話で

すが、同じ部署で扱う問題なので全く無関係には進められないということのようです。

これを受けて、今後の予定を同じ会議の場で話し合い、次のように予定を変更しました。

- 1) 公民館講座を来年度から住民が運営できるよう検討する
- 2) ホール等の設備、備品の管理に住民が参加する

つまり調整のつかなかった「雇用」の部分を少し先延ばしし、実際にできる部分から始めようという話です。

どうでしょうか。こう書くと公民館を住民が管理するという壮大な話が、いつの間にか公民館講座の一部を住民が企画するというずいぶん小さな話に矮小化されたような印象を持つ方も多いと思います。「こんな話は出来るはずがない」と思っていた人からは「そら見たことか」という声が聞こえてきそうです。

しかし、そう悲観的な話でもありません。もともとこの話はコアの運営の自治権を拡大し、最終的には住民管理の文化施設にしたいということが目標です。そのためにできることから始めようというのが今回の活

街灯LED化問題 その後

街灯のLED化について、その後です。

千葉市は予定通り9月中旬に落札業者を決定し、今は具体的な工事方法や街灯の製品選びをしているところです。この状況で今から住民がどんな希望を出そうと実現される可能性はないのかも知れませんが、ベイトウン内の街灯について可能な限りデザインの良いものを使ってもらいたいと幕張ベイトウン協議会は千葉市の間で9月16日に話し合いを行いました。

千葉市は今回のLED灯への交換が必要なことを説明し理解を求め、協議会側も今後製品選びに立ち会うことで容認した模様です。

この話し合いにはベイトウン開発時の街灯デザインに参加した専門家も協議会側のオブザーバーとして参加しており、「選択の論理を明確にして、メーカーの工夫など話合うプロセス」を求めるなど専門家として住民が気付かない具体的な意見を出しています。

千葉市では今後機種選びや実際の点灯時の状況などサンプルを出して決めるなどの作業を10月上旬に行うことにしていますが、できれば公開で行ってほしいものです。今のままでは住民の姿が見えないところで予定がどんどん進んでいるという感じがします。【松村】

動のはじまりでした。魅力ある公民館講座を自分たちで企画し、運営を続けていくことは、コアを自分たちの文化施設として住民が認識し、その設備や備品の管理に自分たちが関わり、住民が出し合った資金で従来の公民館予算では管理できなかった部分を補填することにつながります。そのための活動については千葉市も住民が主導的に活動することをお互いに認めるところまでは今回到達できたと思います。

今回の千葉市との折衝をきっかけにして「コアがこのままでは老朽化し、今までやってきたこともできなくなる」という危機感を実際にコアを使っている人達の間では共有でき、そのために何かしなければという気運がサークル代表者の間で出てきました。また住民がこういう意識をもって活動することを千葉市も評価していることが話し合いの中で確認できました。外見的には大きな変化はなかったかも知れませんが、公民館の運営に関する意識は大きく変わったと思います。

「考える会」次回は

日時：10月4日（日） 午前11:00～

場所：地域支援センター

で開かれます。この会は公開です。ベイトウン在住の方はどなたでも参加できます。公民館を住民で運営するため、みなさんの知恵をお貸し下さい。

第13回 コーラスの集い

日時：10月25日（日）
14：00開演（13：30開場）
場所：ペイタウン コア音楽ホール
入場無料
指揮 佐藤 柳 ピアノ伴奏 永木真紀

女性コーラス瀬音
ねむの花 夏の思い出 他
混声コーラスGAFU
My Fair Lady メドレー 他
瀬音・GAFU
翼をください 瑠璃色の地球 他
男声コーラス
佐渡おけさ 竹田の子守唄 他
ソプラノソロ
さくら横ちょう 芭蕉布 他

皆様のご来場をお待ちしております。
お問い合わせ：斎藤 tel043-213-0309

「ウィンターコンサート」出場者募集

ペイタウン・コア恒例の12月クリスマスシーズンのコンサートへの出場者を募集しています。
音楽会日時：12月20日（日）11:00～17:00 予定
場所：ペイタウン・コア 音楽ホール
内容：ピアノ・ヴァイオリン他の楽器、声楽、合唱などソロでもアンサンブルでも
出場申込み先：阿曾 TEL/FAX 211-0273
受付期間：10/1（木）～10/31（土）ですがいっぱいになり次第締め切らせて頂きます。

ペイタウンニュースの配布にご協力ください

ペイタウンニュースの配布をしてくださるボランティアが不足しています。毎月1回土曜日の午前中の時間をお貸しいただければ大変助かります。
お問合せ：松村 TEL：211-6853、mazmbtn@gmail.com

打瀬分館 子ども読書まつり 【10月6日(火)～10月10日(土)】
わらべうた・絵本・お話を楽しむ1週間。

	日 時	イベント名	会 場	対 象	定 員
当 日	10月6日(火)・7日(水)・ 8日(木)・9日(金) ①AM 11:00～ ②AM 11:30～	子ども室 えほんのじかん (絵本の読み聞かせ)	打瀬分館 子ども室	幼児	各10人
自 由 参 加	10月10日(土) ①0歳児 AM 10:00～10:20 ②1～2歳児 AM 10:30～10:50 ③3歳以上 AM 11:00～11:20	わらべうたであそぼう ※③は1人でも参加可 小学生もどうぞ	打瀬公民館 講習室	0歳児～幼児と 保護者	各40人
	10月10日(土) PM 1:30～2:00	英語で楽しむ親子おはなし会	打瀬公民館 講習室	4歳児～小学生	40人
	10月10日(土) PM 2:30～3:00	語りを楽しむ会 ～むかしばなし など～	打瀬公民館 講習室	小学生	40人

参加費：無料 当日直接会場にお越しください。
問合せ先：打瀬分館 TEL：272-4646

10月のコア・イベント

わくわくおはなし会 10月の常設おはなし会

わくわくおはなし会 10月の常設おはなし会
日時：10月17日 第3土曜日 10：30から
場所：ペイタウン・コア工芸室
予約不要 途中入場できます。
今月もわくわくするお話を用意してお待ちしています。
年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！
予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎
ブログ更新中・見てね** <http://waku.makusta.jp/> **
お問合せ先：chibawaku2@freeml.com

第143回ファツィオリの会（コア文化振興基金後援事業）

日時：10月18日（日）午後6：00～8：30
場所：ペイタウン・コア音楽ホール
フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、
声楽や合唱などに使って頂くことができます。非公開でのご利用ご
希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていた
だきます。聴きにきて頂くのは、自由です。
最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。
申込締切：10月11日（日）
申込先：TEL&FAX 275-3163(笠原)

寺子屋工作ランド

「木の実笛」（木の実でつくるふえ）
日時：10月24日 第4土曜日 9：30～11:30
場所：ペイタウン・コア工芸室
持ってくるもの：鉛筆、小刀、セロテープなど工作道具
参加費：50円（保険料）
保護者の方も参加されるときは材料費50円を負担いただければ幸
いです。コア・アトリウムに見本を展示してあります。

コアフェスタ出場者募集

ペイタウン音楽愛好会は、11月22・23日のコアフェスタの
一日目、22日（日）9：30～11：30にコアホールにて、演奏
会を開催致します。
ペイタウンの皆様、ファツィオリの演奏や他の楽器演奏、ア
ンサンブル、声楽などで、どしどしご出場いただきたく、募集し
ています。どうぞご応募ください！
締切日：10月18日（日）但し定員になり次第締め切ります。
連絡先：大垣 ymogaki@k4.dion.ne.jp
tel/fax 276-3878